夕刊 いわき民報

発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
印刷人兼発行人 登原田
編集兼発行人

TEL・9 99 999
釜屋商店

自由黨 石城支部を結成

新支部長に木村守江氏

自由党平支部と石城支部を統合し新に石城支部の結成大会は十七日午後一時廿分から平市公会堂に開き党員約五百名集まり規約を決定後支部長に木村守江参院議員、幹事長に小野義一県議、総務会長に星友太郎県議、事務局長に大平正次県議外役員を決定、日本再建へ党の融和を図り今後の活動を積極化することを申し合せ午後二時五分自党万歳を三唱して目出度く新発足した

木村支部長

赤津副会長

馬目副会長

星総務会長

小野幹事長

大平事務局長

この日、星県議が開会の挨拶を述べ、議長選任を諮り満場一致で木田県議を推薦、小野幹事長から準備委員会の経過を説明して諒解を求め、植田石城、金古平の両支部長からそれぞれ解散統合について挨拶を述べ拍手裡に両支部を解散、新石城支部結成式に移り、野沢氏から規約の朗読あつて原案を満場一致可決、直ちに役員選挙に入るや大河原茂平氏（好間）から支部長選任については十名の選考委員を議長指名によつて行うべきだとの提案あり満場これ賛意を表し、木田議長から十名の選考委員を指名、別室で慎重審議の結果、新支部長に木村守江氏を選任した旨植田万次郎選考委員長から結果の報告あり満場拍手を以つてこれを承認、木村氏から党員各位の熱烈な御支援によつてこの重任を果したいとの挨拶あり、次で議長から支部長以外の役員選任を規約に基き支部長の指名によつて決定、一人の野次もなく一瀉千里に支部の結成を見、万歳を三唱して直に時局大講演会に移つた

顧問　木村清治
　　古川伝一
会長　関内正一
副会長　諸橋久太郎
同　運沼龍輔
同　野崎満蔵
幹事長　萩原義雄
副幹事長　木村守江
同　赤津庄兵衛
同　馬目武之助
同　小野義一
同　豊田美孝
同　緑川嘉一
同　小井戸庄松
総務会長　星友太郎
常任総務　植田万次郎
同　古政通
同　沢田源次
同　強口唯七郎
同　大平正次
同　木田森之助
同　杉本久光
同　鷲文治
事務局長　大河原茂平
同次長　大平正次
同　野沢武蔵
総務　赤津修一
同　成瀬巴三
同　吉田孝
同　矢吹荘司
同　佐藤源吉
同　木村淳
同　安田善
同　黒川喜一郎
同　佐藤三平
同　永山忠二
外　町村長全員
顧問　町村会議長全員
会計監査　諸橋元三郎

二千の聽衆熱狂

時局講演空前の盛況

十七日の自由党石城支部結成大会終了後直ちに平市公会堂において時局講演会を開いた、押しかけた聽衆は階上階下を埋めつくして約二千、弁士は地元の関内、木村衆参両院議員、東京選出の井手光治代議士、宮城県選出大石武一厚生委員長、前農相森幸太郎代議士、前蔵相泉山三六参院議員、野田建設相、大野伴睦最高顧問の八氏、何れも憂国の至情を吐露して大熱弁を振い午後六時空前の盛況裡に閉会した、終つて谷口楼で催した官民合同歓迎会は出席者百六十余名の多数に上りこれ亦かつてない盛況ぶりであつた、講演の大要左の通り

関内代議士　自党石城支部の新発足を祝し皆様の変らぬ御支援をいただき、幸い昨年アメリカを視察することも出来た事はこれまた皆様のお蔭で感謝する、とあつさりした挨拶を述べ

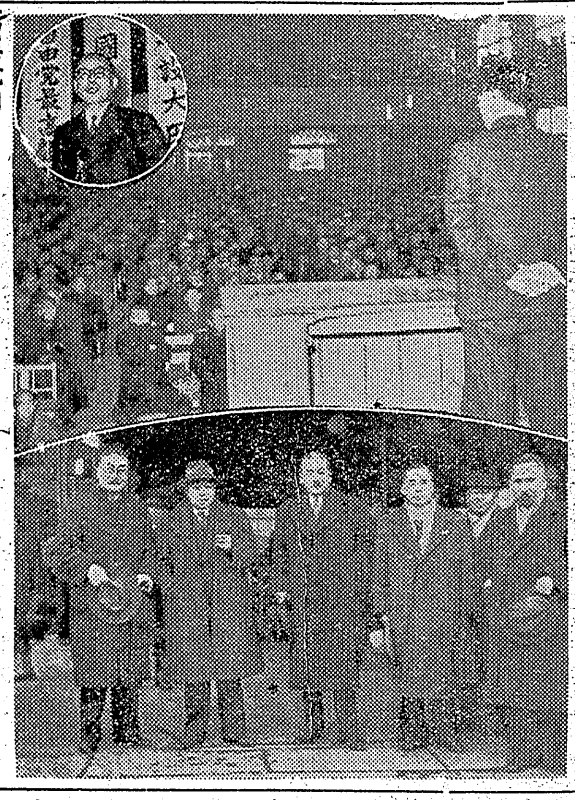
木村参院議員　国家の重大問題になつている再軍備と防衛問題について、ソ連の侵略の歴史近くは朝鮮侵入など無防備と真空状態にある国家に対し侵略戦争を起して来た実状から無防備を叫ぶ共産党や社会党の政策が真に国を憂うるものでない、火災はいつ起るか判らないのでガソリンポンプを設備するのである、わが党の防衛態勢を整える政策は必要である

井出代議士　関内代議士は政治家として真に尊敬出来る人材であると賛讃、英国の総選挙視察談に入り英国が世界を征覇した歴史は軍隊のためでなく永年築き上げた民主政治のためである今度の総選挙において違反が全国で僅たつた一件しかなかつた、日本では一選挙に三十万件の違反と百万の違反者が出るのとは比較にならぬ、演説会場にはいつも婦人が五十五%の出席率で三千から六千位入る会場はどこも満員、戸別訪問は自由で遂行く婦人でも〝保守党に入れて下さい〟とか〝労働党に〟といつた貼紙をウバ車などに貼つてあるという具合だ、民主政治の確立こそ日本再建の途と結び約一時間熱弁をふるう

敗けた日本は二千六百年の歴史があり二百年のアメリカと比較にならぬ、日本人は決して卑下することなく、来る四月条約発効の一本立となつた暁は今度こそいばらの途があるのだ、奮起すべき秋だと平易な面白くおかしくやつて聴衆を喜ばせる

泉山三六氏　福島県に来れば山下春江がある…とやつた笑で聴衆から大モテ、ムツソリニーの彼女クララ・レバツチは刑場の露と消える時までの一生日本人と一緒に居ることは安全だと述懐した、日本人よ卑下するな、文質文明か、精神文明か、日本人よ、日本人に還れと絶叫

大野顧問　私は野人である、廿七年間政党政治のえんの下の力モチという役をやつて来た、明治八年故板垣退助が自由民権の旗を押したてた時、本県から河野磐洲がはせ参じ自由民権獲得の為に血を流した歴史は福島県人の血に流れている、その情様にお会い出来たことは光栄である、吉田総理大臣は議会解散はないというが秋風の吹く頃に選挙はあると思う、政党政治が確立していないから日本は敗戦した、私は鳩山を中心に同好会を造り、近衛、東条両内閣に一日も早く戦争終結したがなにしろ同好会は僅か三十九名しかなかつた、若し代議士が多く参加し戦争予算を否決したなら戦争は出来なかつた、政党政治の大切なユエンがこゝでも判る、当時の政治家の責任である、処がこの政治家が追放解除になつたらまたぞろ出馬しようとするものがあるようだが不謹慎も甚しい、自由党に大野派広川派が在るように新聞で面白く書いてあるが、そんなものはない、安心して欲しい、みな憂党派と云うべきものでこれがわが自由党の伝統である、関内代議士は沈黙の士で事あらば自万人と雖もわれ行かんという烈々たる意気に燃えている奥の政治家で、こう云う人こそ皆様のよき代表で将来大成すること請合である、四、五日前鳩山さんを二ヨ山の別邸に訪ねた処大分元気で今日は五百米ばかり散歩したといつている


寫眞説明　上、円内の野田建設大臣と立すいの余地ない会場下、平駅頭の一行（右から森前農相大野伴睦氏、泉山前蔵相、左端木村参議員）

石城地方は資源地帯

野田建設相 大野顧問も熱辯ふるう

野田建設相木村参院議員とは友人である、木村氏は参院の名物男、氏が参院に姿を見せると一座は急に引きしまり審議のテンポを急ぐ、参院に無くてならぬ存在となつている、石城地方は恵れた土地で豊富良質な石炭があり、これに電力さえあれば将来工業地として発展を約束されている、幸い只見川電源開発問題が解決されゝば将来を期待される、只見川問題は結局政府自体が行う方針で特殊会社を造ることになるが、福島県はその株主になろう、外資も考えている福島県の協力を無視してやるようなことは絶対にない、廿二日新潟の岡田、福島の大竹両県知事と会つて話し合うことになつている、何といつても政治的基盤が確立しなくては斯うした案も実現はムツかしいので幸い本日石城支部が結成されわが自由党の細胞組織というものが動かぬ基盤となつて活動されることは喜ばしい

大石厚生委員長　社会保障制度の問題に言及、国家予算の一割四分の八百億円による予算を獲得したことは敗戦日本としては関心をもたれている、然しまだくその緒についたばかりで今後この制度の満全を期したい

森前農相　敗戦から今日に至る日本の過程を述べ貿易による再建が常道、食糧輸出を説し、国内食糧増産対策が必要、アメリカの世界観があのモンロー主義から一大変化を来し敵であつた日本に甘藷を送り込んだ、戦争に勝つたアメリカがお気の毒

日高見炭鑛も安決

日鑛常連關係全部解決

日鉱常連では十六日午後一時から東部石炭会館に東部鉱連と二月以降新賃金に関する仮調印を行つた未決定であつた日高見鑛は基準外を含み坑内が十五円、坑外が十円増と決定、家族給は扶養家族一人に付き月額四百円以内、扶養家族の範囲は各山の現行通り、協定期間は本年の一月一日から十二月三十一日迄この間経済情勢に変動があつた場合は新ためて再交渉する

同協定の実施運用に紛議の生じた場合は両組織で聯絡処理するなどとなつている、なお職員給与問題は今後引続き交渉を続き決める

天気予報

十八日【今晩】北よりの風はじめ曇りがちのぐずついた天気で時々雨降る
【明日】北よりの風日中南よりの風でよい天気午後うす雲拡がる海上は今晩明るとも穏かな方

海員文庫

海運支局に設置

東北海運局小名浜支局で船員並に漁船々主、海事関係者の教育資料とした巡回文庫を十八日同支局内に開設した、今度到着した文庫内容は現代文学、社会科学、法律、生理衛生などを含めた百七十九冊持ち出し、閲覧期間は一冊一週間で無料となつている、なお同文庫は約一カ月ごとに衛書と更新される

光台院　葬送の際は御多用中の処遠路態々御会葬下さいまして誠に有難うございました
早速参上の上御礼申上ぐべきところ略儀ながら紙上にて御礼申上げます
昭和二十七年二月十七日
平市材木町二九
喪主　鈴木義德
外親戚一同

町税滞納
差押物件　公賣公告
一、公賣方法　競争入札
一、物件　土地　建物及電話加入權
（目録は当役場掲示板に公告）
一、日時　二月廿日正午
一、場所　小名濱町役場
▼町税滞納のため差押えた物件を入札の方法に依り公売するから買受希望の向は入札人心得書を承知の上入札されたい
昭和二十七年二月十五日
小名濱町役場

飯田カメラ店　飯田写真館
平市紺屋町　TEL1365

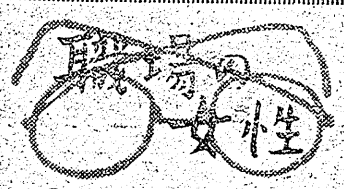
第四回　日本人形を作る講習會
お知らせ　情緒豊かな日本人形がどなた様にも優美にやさしく出来ます
★講習料目＝八重垣姫（材料費七号二千二百円十四号二千八百円）見本は大丸白貨店ウインドーに有ります
★期日＝2月24日（日曜日）九時より四時まで（一日で仕上らないとき次の日も行います）
★会場＝平市紅小路　御元（電六四五）
★講習会費…百円（完成まで）お申込の際戴きます
★申込所＝大丸白貨店
★申込締切＝二月十九日まで
★第三回までフランス人形を作る講習会を開催、その都度絶大なる御好評を戴きましたが、今回は皆様方の御要望により三月の節句に因んだ日本人形を作る講習会を開催致し、趣味に生きる日本美術の粋を御指導申上げたいと存じます
★フランス人形講習会に御参加の方は勿論、初めての方にも広くおすすめ申上げ、この日本の誇る高尚優美な手芸をお身に附けて戴き、地方文化の御先達となられますよう念願するものです
★各自御用意品＝裁縫用具（特に太木綿糸、フトン針、目打）暗手紙二枚、他に脱脂綿、虫ピン糊少々、雑記具、昼食
★詳細は大丸白貨店においてお問合せ下さい
主催　眞町教材社
後援　県社会福祉協会　大丸白貨店

女店員募集　委細面談　ブラジル

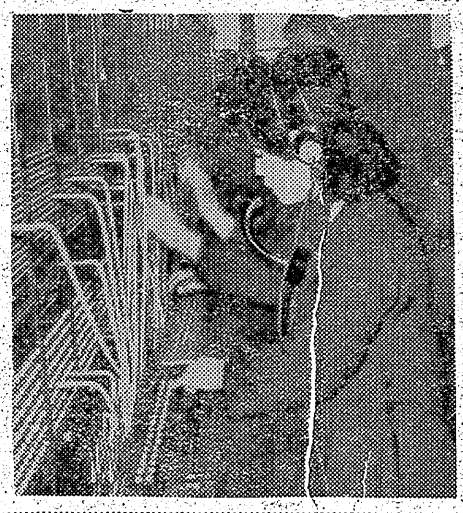
いわき民報
（第三種郵便物認可）
日刊（除月曜）　1カ月金80円（週1回四頁建）定価一部（二頁）3円（四頁）4円

全國第三位の腕前

親切で明朗な坂本交換嬢



平電話局の交換嬢九十余名の中で坂本文枝さん（20）は声の職業では一番恵まれた持主の明るい女性だと第一運用課長遠藤ハナさんは賞讃するーそのはず坂本さんは昨年、一昨年と全國電話競技会に東北代表で出場、昨年は市内語調用語競技で全國第三位を獲得した程の腕前で、東北地方には稀にみる歯切り良さと高音声と持ちその上取扱いの丁寧な人柄は洋服屋さんで七人兄妹の次女、兄妹喧嘩は一度もしたことがないという明朗な乙女ー職場ではチビちゃんの愛称で通り十六才の時から現在まで六年間精勤の古参株だが加入者の話し振りの口調で相手の職業、性質柄が判るといい、語調では加入者から一通もお叱りを受けたことがないというレコードを持っている。趣味はアメリカ映画、歌謡曲卓球とあるが映画はロマンチックな恋物語が一番好き、結婚感は断然恋愛結婚、しかしまだ一度も恋したことはありませんとおっしゃる。最近は市外係りが多く坂本さんの鈴声がお聞きになりたい方は一週間に一日市外×換台、『ハイ、市外です―あなたは―何番から何処々々の何番へですか―ハイ承知しました』とおやりになるそうな…



（写真は交換台に取りくむ坂本さん）

縣當局も羨望

場外車券賣場の借用方申入れ

県当局ではこの程、最近好調な成績をみせて来た平競輪に対し、郡山の場外売場を使用期間外に借して欲しいと申し込れて来たこれに対し市当局では検討の上返答することになるが、郡山場外売場を設置してからは車券売上げ増進のため色々苦労し開催当時の十月には一レース二万円程度と不振であつたものを最近では一レース六万円以上に成績が向上して来た、これをその儘そつくり借すのは良いが一回開催四百万円程度売上げがあるのだからその二割五分の收入が県にあるから宣伝費、人件費、電話料、税金等を差引いても五十万円はモウけとなるから貸与料として総売上げの五分程度ならOKとみている

郡山場外売場の一回開催経費は賃貸料や固定資産の償却費を含めて六万五千円程度かゝる、だからこの費用位では今迄の苦労もあるから貸与することは出来ないと考えている、兎に角今後は県当局が福島市か又は会津あたりに場外売場を設けこれと交換条件に三丁目場外売場を期間外使用させてくれと懇望して来ても百二十七万円（第二回前節分）からの売上げがある点からおいそれとは承知しないだろうとみられている

緊急停電續行

平市は十一時から三十分

電力悪化は増々深刻を加え去る十五日深夜からは石城郡一円におよび一時間置きの抜打ち緊急停電を行つたが、十六日更に平市内は二区域に分かれ夜十一時から三十分間の緊急停電が実施された、東北電力平営業所では十七日現在東北管内出力は平年の八十八%三十六万キロでこのまゝ続けば今後深夜の停電は避けられないので一般の節電を要望している、なお深夜に於ける市内の停電区域は次の通り▼午後十一時から同十一時半＝平昼夜線（一丁目―七丁目、南町、田町、大町、仲間町、中塩町、正内町、鍛冶町）▼午後十一時から同十二時＝平幹線（旧城跡、胡摩沢、久保町、八幡小路、六人町、研町、三崎町、堂根町、堂の前、材木町、長橋町、紺屋町、才槌小路、土橋、古鍛冶町、北目町）

石城町村長會 理事會 來る廿日

石城町村長会理事会は二十日午前十時から、町村長会は二十五日午前十時から地方事務所会議室に開き二十六年度決算報告の後二十七年度予算に就き審議する

小名濱電報局 敷地を決定

小名浜町の工場誘致委員会は去る十五日午前十時より町長室で開き小名浜電報電話局新築に伴う敷地候補について協議した結果、小名浜郵便局南側の同町字定四一地内約六百坪を有力地と決定、福島逓信部へ連絡、同部の回答をまつて再審議することになつた

大阪東京間空の旅 愈よ來る廿五日行う

平和楽路会主催の『空の旅』は愈々来る二十五日大阪―東京間滞空一時間半の旅行を実施することになつた、平からは十五名が参加出来るが希望者に対しては日本交通公社平案内所で受付ける、旅行日程要領は次の通り

▼二十四日常磐線準急平―上野東京より『つばめ』―京都（一泊）▼二十五日京都市内見物―大阪日本航空会社大阪―東京間上野―平間急行で帰郷▼費用一万三千百円（汽車は往復三等）

産業安全週間 ポスター圖案募集

平労基署では林材労働福利協会の要請で七月に実施される全国産業安全週間用のポスター図案を懸賞募集している、図案は特に林業労働についての災害防止即ち安全作業を強調したもので用紙は縦四四〇ミリ横三七五ミリの画用紙を用い下縁に主題、後援者名等を記入する余地を五ミリ幅位考慮に入れること、色彩は水彩又はポスターカラー五色以内、但し掛合せは自由、挿入文字は『全国安全週間』並に期間『七月一日より七日まで』の意味を表わす文字を入れること、締切は三月末日で送り先は東京都千代田区神田駿河台一ノ六馬事畜産会館内財団法人林材労働福利協会宛で入選発表は五月上旬

平事件併合公判

公訴棄却の申請却下

平事件斗争委第六回公判第一日は従来の甲組鈴木（光）ら四十二被告に乙組の十二被告が併合された六十被告のうち十七被告が出廷、十八日午前十時十五分から地裁平支部に山田裁判長係りで開廷、いまゝでの欠席被告の人定尋問、記訴朗読の後竹沢弁護人は公訴棄却の申立てを行つたが却下され、次いで内郷、湯本両署の騒擾行為の訴因変更に異議を申立てたが却下された、更に特別弁護人に元日共石城地区委員長、日農副会長折笠勝雄氏、国民救援会石城地区委員鈴木喜代治氏を申請したのち起訴事実の認否が行われ各被告とも否認し正午休廷午後一時再開された

船舶違反

職員法で二名送検

小名浜海上保安部では宮城県桃生郡宮戸村字宮浜六八底曳船第一五八軍丸（四四トン）の船主門馬重義（三）同船甲板員門馬初美（二）の両名を船舶職員法違反容疑で十八日書類送検した

取調べによると昨午二時二十四日午前十一時ごろ同船（十四名乗組み）が小名浜に入港するとき船主の門馬は運輸無資格者の門馬初美に運行させていたのが同保安部田村保安官の臨検で発覚したもの

身元不明の縊死

上小川村部で発見

十八日朝八時半ごろ上小川村上小川字高崎の山間部で身元不明の三十五、六才位の男が縊死しているのを通りかゝつた同村角崎農業松本軍二さん（32）が発見平地区署へ届出た、着衣は黒ジャンパーにゴム長靴を履いている

俳句作家連盟

十七日湯本町で結成

磐城俳句作家連盟結成会は十七日午後一時から湯本町公民館日本間で開かれ役員選任の結果会長には渡辺同鳴氏（平）参事峰松宏泉氏（小名浜）幹事椎名磐木氏（湯本）ら二十名を選び運営方針については具体的に決めなかつたが大体年四回の定期評会、年刊の句集を発行するなど意向がまとまつた

ラジオ JOCP JOHR

ローカル平放送（19日）

前10・00 びゆく福島『農家の新しい副業作物』ト泉武雄
前10・10 学校放送『小学校第二部『たのしい音楽』』石川郡田谷小安積郡丸守村上毋豆島小
後2・00 平若松通信第一二一報
後2・05 福島民報平支社長菅野芳夫
後2・10 放送劇『山鳩の唄』福島放送劇研究会

女の地圖
19＝24日　自家發電完備　ヨルの部6時20分　民衆劇場
女性週間
豪華配役が描く田村文學の強烈な女性
山田五十鈴　本立　神田隆　岸旗江　沼崎勲　三島雅夫　三口信一　清水元
慈あさみ　折原啓子　若原雅夫　徳大寺伸　田代三郎
母なれば女なれば
一生一度の戀も子供と暮すために泣いて捨てようとする女！
山田五十鈴の名演技が物言う母もの決定版!!

近代的の大食堂
コーヒー　紅茶　一杯でも支那そば一ツでも……
御気軽に御来店下さい
PEARL
レストラン　食堂　パール　眞珠
★女店員募集★　平市田町大丸ワキ

ピースミシン
10カ月月賦　機械即納
平市南町電960
草野ミシン商會

19日公開　23日まで
全映畫ファンが待ちに待った豪華絢天然色
烈日の燃けつくテキサスの荒野に決斗をいどむ野性男と混血の美女!!
白晝の決闘
グレゴリイ・ペック
ジエニファー・ジョンズ
ジョセフ・コットン
名匠キング・ヴイダーが生涯の情熱を傾けた西部劇以上の西部劇！
ひかり座

平名物　元祖まんじゅう
製造元　株式会社平製パン　平市かし町番21

2月16日より20日まで
冬物呉服服地最後の大奉仕
思い切つたお値段を更に更におつとめして
店頭店内に発表いたします
何卒冬物最後の奉仕品を御蹟下さい
特別おつとめ品も豊富に取揃えての大奉仕
新柄春物服地
呉服類新入荷
はんぱきれ特賣場新設
24・5日二日間來店
マユラ美容師
フランス
S・ヨランダ女史
通訳　朝吹マリ女史
三幸
平三　電506・1327